

ほんべつ 議会たより

No.109

2024年(令和6年)
5月1日発行



深めた友情 これからも!!

3月25日～28日 本別・南三陸ふるさと交流研修会

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 

多くの
人に

傍聴や中継を視聴
していただき
ました

ナイター議会

令和6年
第1回定例会

3/12

平成12年から始まったナイター
議会は、今年で22回目の開催とな
りました。

午後6時から2人の議員が一般
質問を行い、日中仕事などで足を
運べない人など25人が傍聴にお越
しいただき、さらには議会中継で
も80人以上の人に視聴していただ
きました。

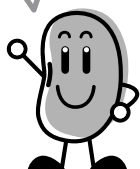
今後も町民に開かれた議会を目
指し、活性化の取り組みを推進し
てまいります。

町民の声を大切に

今回、ナイター議会傍聴者およ
び、期間限定で議会中継の視聴者
にもアンケート調査を実施しまし
た。

いただいた御意見について一部
をご紹介します。

アンケートに
ご協力いただ
いた皆さん、
ありがとうございました。



回答数 27人

〔傍聴者23人
中継視聴者4人〕

Q 一般質問についてお気づき
の点は？

- ・防災の質問は、今の時期タイ
ムリで良かった。
- ・議員の質問に対して町の担当
者が把握していない事が多い
のでは。何度も休憩になり話
が進まない場面が多々あった。

Q 議会や議員への提言・意見
などありませんか？

- ・日程調整が難しいかもしれな
いが、ナイター議会の回数を
増やしてほしい。
- ・どうすれば本別町を元気にで
きるかをもちと議論してほし
い。町外から人を呼び込めよ
り、今いる町民が離れたくな
くなるような町づくりを。





第1回 定例会

議員辞職を許可

令和6年3月11日付けで、柏崎秀行議員より一身上の都合により議員辞職願が提出されました。

翌日12日の定例会で採決し、辞職が許可されました。（賛成9人、反対1人）

副議長に高橋議員

柏崎秀行議員の辞職の決定に伴い、欠員となった副議長の選挙が3月14日の定例会で行われました。

この選挙は無記名投票で行われ、高橋利勝議員8票、梅村智秀議員3票で、高橋利勝議員が副議長に就任しました。

定例会については8ページにも掲載

議会・委員会構成等の変更 (令和6年3月14日付)

○副議長 高橋 利勝

○広報広聴常任委員会

委員 水谷 令子

○一部事務組合議会議員

とかち広域消防事務組合
高橋 利勝

おわびの言葉

3月9日、前副議長による「道路交通法違反疑い」などの第一報がなされて以降、連日に渡る、各報道機関等の報道によりまして、町民の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、心よりおわび申し上げます。これらの報道は「疑い」で捜査中との内容であり、その真偽につきまして、把握できるものではございませんが、町民の皆さまから選挙で選ばれました私たち町議会議員は、町民全体の奉仕者として、倫理性を常に自覚し、法令を遵守することはもとより、町民の皆さまに疑惑を持たれる行動は厳に慎まなければなりません。その中において、このような報道がなされたことは、本別町議会を代表する議長として誠に遺憾に存じます。

今後におきましては、町民の皆さまを失望させることがないよう、本別町議会議員一丸となり改めて綱紀肅正に努めてまいりますとともに、町民の皆さまからの負託に応え町政の発展に寄与できる議会活動を行い、信頼回復に努めていく事をお誓い申し上げます。

本別町議会議長 篠原 義彦



6人の議員から7問

町政を問う!

一般質問



行政

飲酒運転を根絶し道の駅構内の安全確保を

答 町としても飲酒運転根絶の啓発をしていきたいです



梅村智秀議員

夜間に車止めの元氣くん石像への衝突事故があり、緊急車両も出動しております。町長がこの事故をいつ把握し、どのような対応をしましたか。

佐々木町長 ①②道の駅運営者を含めて協議し進めていきたいです。③構内に飲酒運転根絶宣言のお店の掲示はしています。④2月の下旬にうわさ話で聞き、元氣くん石像については一切被害がなく、事故の状況などは警察の判断だろうと思っております。特段、事後対応は取っていません。

梅村議員 道の駅への駐車場が国道に面しておらず分りにくい。また、構内での事故も発生しており対策が必要です。①駐車場入口前やロータリー側に、駐車場が西や南側にもあるという案内をすると利用者には親切では。

②駐車場にある防犯カメラを高性能のものにし、事故や事件の抑止や原因の究明に使用するべきでは。③構内において飲酒運転防止の啓発等、ポスターなどで行っていく必要があるのでは。④昨年10月の

道



道の駅駐車場の元氣くん石像

現在の自治会の状況にあった自主防災組織を

答 複数の自治会による連携を考えていきます



高橋利勝議員

高橋議員 1月1日に発生した能登半島地震の被災地の行動として、地域自治会の活動が報告されており、その重要性を受け止めています。本別町においても、地域防災計画の中で、住民の責務、事業所の責務が掲載されており、自治会等の組織を生かした自主防災組織を整備、育成するとなっております。現在の自治会の状況を考えると検証すべきと思いますが考えを伺います。

また、防災の研修、訓練を積み重ねることによって意識を継いでいけると考えますが考えを伺います。

佐々木町長 災害に対する住民や事業所の責務については



常に災害の備えを

防災ガイドマップの配付により啓発しています。

また、自主防災組織の考えについては、自治会の協議が整えば複数の自治会を一つの単位とするなど、弾力的に運用すべきと考えています。

住民の研修や訓練は、防災減災につながり、複数の自治会の連携を密にするための重要性は高まると考えます。

本別型地域包括ケアシステムとは…

夢や生きがいを持ちながら生涯現役で生活することを基本に、ひとり暮らし、認知症や要介護状態になっても、住み慣れたこの町で安心して生活を継続できることを目指して、本別ならではの町民力を結集し、まちぐるみの支え合いの仕組みづくりです。

ものしり博士から



安心して老後を暮らせるように

加藤議員 介護人材の不足が深刻化する中、人材確保と定着支援は、持続可能な介護保険事業推進に重要です。

①町内介護保険事業所の人材確保の状況は。

②これまで人材確保に取り



加藤徹己議員

介護人材確保の現状と定着支援は
答 無資格者への補助制度の要綱見直しなどを行います



福祉

包
括
ケ
ア
シ
ス
テ
ム
の
構
築
に
努
め
て
ま
い
り
ま
す。

望する無資格者、外国人や潜在介護士など、介護人材の裾野を拡大し、介護職員初任者研修などを開催するほか、無資格者に対する補助制度の要綱見直しなどを図っています。

引き続き介護人材確保対策を推進しながら、**本別型地域包括ケアシステム**の構築に努めてまいります。

佐々木町長 ①現在、人材が不足している状況ではありません。

②町の介護職員等就業支援補助制度を活用して延べ195人へ補助金を交付し、一定の成果を得ましたが、数年後に離職する課題があります。

③中高年齢者や再就職を希望する無資格者、外国人や潜在介護士など、介護人材の裾野を拡大し、介護職員初任者研修などを開催するほか、無資格者に対する補助制度の要綱見直しなどを図っています。

組んできた成果と課題は。

③定着支援には総合的人材育成機関となる組織が貢献している事例があり、検討する考えはないか伺います。



牛の餌にビート生パルプ利用

方川議員 昨年は十勝の生産取扱高が史上2番目となりましたが、生産費の高騰により特に酪農家にとって厳しい1年となりました。

①新年度予算では、農業振興策に十分対応できた予算と捉えているのか伺います。



方川一郎議員

さらなる農業振興策を
答 各関係機関と協議し、より効果的な施策を進めます



農業

より効果的な施策を進めます。

また、生パルプの話は農協と情報共有し検討します。

②農業振興のため利子補給を含めどのような対策ができるか、本別町営農指導対策協議会を中心に継続協議をし、

佐々木町長 ①新年度予算の農業振興策は農地基盤整備をはじめ、種バレイシヨ作付け奨励や地籍調査などを継続し、新規事業として既存の鹿柵現況調査を実施します。畜産では農協と共に生産基盤回復に向け乳牛導入支援を行います。

②本町も利子補給等をしていきますが、さらなる見直しが必要ですが。

また、昨年から町外製糖工場の副産物の生パルプを酪農家等が利用していることから、輸送賃の補助など農業振興対策が必要と思いますが考えを伺います。

地域活性化起業人（企業人材派遣制度）とは…

三大都市圏（東京圏、大阪圏、名古屋圏）にある民間企業が、地方自治体の要望に応じて、社員を一定期間派遣し、そのノウハウや知見を活かしながら地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらい、地域活性化を図る取り組みです。



行政

本町への新しい人の流れをつくるには
答 情報発信、移住定住、関係人口創出を進めます



阿保静夫議員

フーケーションは民間宿泊施設等と事業実施に向けて事業内容の整理を進めます。
地域おこし協力隊については4人がお試し型の協力隊を体験しています。さらに地域おこし協力隊に応募され、隊員は増加の見込みで、移住につながる効果があると判断しています。

阿保議員 関係人口の創出では、ふるさと納税の推進、フーケーションの推進、地域おこし協力隊の活用等が示されています。今後の取り組みについて伺います。

佐々木町長 新しい人の流れをつくるには観光入込拠点の整備、イベント等の情報発信、移住定住の促進、関係人口の創出に数値目標を設定し取り組んでいます。ふるさと納税は事業を着実に進め、



地域おこし協力隊活動報告会

阿保議員 この事業を取り組むには専門的な部署、担当が必要となるのでは。
佐々木町長 地域活性化起業人制度を活用し、取り組みを進めています。

続く企業の撤退、本別町の対応と対策は？

答 今後も企業誘致活動と既存企業を支援します



丑若浩行議員

丑若議員 明治本別工場が令和9年、生産中止と報道がありました。これまでの本別町の対応と今後の対策は。

また、北海道糖業の生産中止と併せて、町財政の影響はどの程度か伺います。

企業撤退が続く中、企業誘致活動の取り組みと成果は。町内既存企業が本別町へ定着していただく方策が必要と考えますが見解を伺います。

佐々木町長 従前より明治本社訪問を行い、町内産業の充実を図るための情報交換を行ってきたところです。今後は跡地活用と従業員への雇用対策に取り組んでまいります。町財政の影響については、令和5年度の状況から約5千万円の

税収減と試算しています。

企業誘致活動については3千件の企業にメールでアプローチしたところ、9件の問い合わせがあり、今後進捗した場合は情報共有させていただきます。

また、既存の企業が本別町から撤退しないよう、様々な方策を進めていきます。



防げるか企業の撤退

なぜ？敵が合わない町国保病院の薬品管理

答 しっかりした体制を再構築していただきたい思いです

梅村議員

町国保病院では、薬局・外来・2階の病棟に薬品を常備しているが、その在庫数が使用数と一致しないことがあり原因究明と再発防止策が必要です。

①院内会議等でも従事者による盗難等が問題提起されていたのですか。

②公務員倫理に反し、多年にわたり繰り返し返され改善しない原因は何ですか。

③防犯カメラの設置は抑止力や再発時の原因究明に効果的では。

④芽室病院では「できることから始めようプロジェクト」と称した取り組みがある。病院のこれから、小さな芽を育てる展望はありますか。

佐々木町長

配置薬の不一致について大いに反省すべき点で、病院としてしっかりとした体制を再構築していただきたいと思います。



薬品管理の徹底を

①盗難的な疑いがあり、院長からの注意喚起もなされている実情です。

②要因は断定できていない状況の中、職員の意識が欠落している部分があると思っています。

③抑止力が働くので検討の材料にはなります。

④全国の病院の在り方を勉強し、頼りになる病院へ導いていきます。

意見書

第1回定例会では意見書が2件提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

訪問介護報酬引き下げの撤回を求める意見書

社会保障審議会で、2024年度からの介護保険の改正等による訪問介護報酬の改正で、訪問介護事業の基本報酬を引き下げる内容が出されました。

訪問介護で月収も基本報酬も引き下げれば、単独小規模事業所の経営は悪化し、閉鎖や倒産が相次ぎます。よって、訪問介護報酬引き下げの撤回を求めます。

提出者

高橋 利勝



将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書

食料自給率は依然として低い状況にあり、食料自給率向上を図るため国の責務を強化することが重要です。「食料・農業・農村基本法」の改正にあたっては、食料安全保障の強化に向けて農業予算の拡充、農業基盤の整備、官民一体となった備蓄制度の構築、輸入に依存しない国内自給を基本とすることなどを要望します。

提出者

梅村 智秀





第1回定例会

国保病院に対する繰出金などの 補正予算等を可決

令和6年第1回定例会は3月5日に開会し、各会計補正予算、名誉市民の選定などを審議しました。審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

病院への繰出金

令和5年度の一般会計から病院事業会計への繰出金の総額は約4億4千万円で、国からの交付税措置などを除いた、約1億9千万円が町の一般財源からの支出となります。

問 増額提案の理由や背景は。

答 当初予算と比較して、入院外来収益が約5,700万円程度減額の見込みで、年度末に資金不足とならないようにするためです。



一般会計補正予算に対して、**反対者の討論** 梅村議員
病院への赤字補填が町財政に及ぼす影響は小さくなく、支出に伴った医療の質、接遇の改善が見えない。
採決の結果
賛成者8人
反対者3人
可決

病院事業会計補正

医療サービス・接遇

問 接遇などどのように評価しているのか。

答 全職員対象として接遇研修を行っており、接遇の対応は向上していると捉えています。一方で看護師等の対応についてよくないとの意見もごく一部ありますので、継続して改善に取り組んでいきます。

薬品の在庫管理

問 薬品の在庫が合わないことは。

答 病棟で管理している薬が合っていない実態がありました。

病院事業会計補正予算に対して、**反対者の討論** 梅村議員
患者が信頼して受診ができる、職員が安心して働ける職場との評価には至らない。薬品在庫も合わない。

賛成者の討論 藤田議員
接遇は都度課題を共有し対策しており、救急医療や透析患者の受け入れ、医療従事者確保に努めている。

採決の結果
賛成者8人
反対者3人
可決

国保特別会計補正

健康ポイント

健康づくりへの取り組みのきっかけ作りのため、昨年5月から健康ポイント事業を実施し、健診受診や介護予防事業参加、体育施設利用などでスタンプを貯めると、「ゆづりカード」にポイントが付与されます。

問 減額提案の理由は。

答 当初800人を目標に掲げていましたが、必須である健診やがん検診の結果を見せることに抵抗があり、参加者が少なかつたです。

人権擁護委員候補者
荒 文 枝 氏

(美里別地下1)

今 野 勝 彦 氏

(南1丁目)

の推薦を「適任」と答申しました。

令和6年5月1日から
固定資産評価審査委員
会委員になる

竹 田 稔 氏

(北7丁目)

の選任(再任)に同意しました。

令和6年5月12日から
教育委員会教育長に
なる

高 橋 哲 也 氏

(清流町)

の任命(再任)に同意しました。

井出友輝氏、内田智大氏、
江平みち氏、太田美沙氏、
岡崎優氏、川口真一氏、佐
藤貢氏、土蔵啓一氏、中前
孝二氏、藤沢明德氏(以上
10人)より提出された請願
書は、議会運営委員会に付
託され、閉会中の継続審査
となりました。

提出日3月7日

町議会議員による飲酒運
転事故ならびに身代わり
による事故届け出がなさ
れた疑いについて事実究
明を行い町および町議会
の名譽を守ることを求め
る請願書

請
願
書

本別町名誉町民について

故 高 橋 正 夫 氏

(前町長/共栄)

の選定に同意しました。

第1回臨時会



見直し検討中の循環バス

答 車両の価値について
評価はしていません。
今後、運行形態や台数の
見直しを検討しており、2
年間は修繕しながら使用す
る必要があります。

問 走行距離が約42万km
の車両だが、価値は
どれくらいあると捉えた上
での提案か。また、いつま
でこの車両を使用するのか。

マイクロバス修繕

一般会計補正

第1回臨時会

開催日1月30日

令和5年度各会計補正予算

会 計		(補正額) 補正後の額	主な内容
一 般 会 計		(△258万7千円) 76億8,181万4千円	物価高騰対策、中学校エアコン設置工事費などの増(臨時会) 事業費確定による係数整理による減(定例会)
特 別 会 計	国民健康保険	(△1,450万9千円) 10億3,984万8千円	事業費の確定、決算見込みによる減(定例会)
	後期高齢者医療	(△174万円) 1億5,187万9千円	事業費の確定、決算見込みによる減(定例会)
	介護保険事業	(△7,049万円) 10億9,780万8千円	事業費の確定、決算見込みによる減(定例会)
	介護サービス事業	(△18万5千円) 3億3,885万6千円	特別養護老人ホームにおける感染対策経費の増(臨時会) 事業費の確定、決算見込みによる減(定例会)
	簡易水道	(△389万1千円) 1億4,891万8千円	事業費の確定、決算見込みによる減(定例会)
	公共下水道	(△4,023万2千円) 4億7,355万9千円	事業費の確定、決算見込みによる減(定例会)
水道事業会計		(△120万8千円) 2億4,452万3千円	事業費の確定、決算見込みによる減(定例会)
病院事業会計		(△476万9千円) 13億6,282万円	決算見込みによる減(定例会)

一般会計補正予算に対して
反対者の討論 梅村議員
今後、循環バスに高額の
修繕料がかかる可能性があ
る。リース車や中古車購入
など十分な比較をすべき。

採決の結果
賛成者10人
反対者1人

可決

※第1回臨時会(1月30日開催)含む

令和6年度

予算 審査

3月18日・19日・21日

審議時間

10時間31分

157の質疑で
徹底審査

令和6年度の各会計予算
審査は、特別委員会（議
長を除く10名で構成）に
付託され、3日間にわたり
質疑を行いました。



一般会計予算総額
73億4,043万円

8会計総予算額
歳出(支出)総額 124億4,027万8千円

一般会計

歳出

行政情報配信システム
977万9千円

問 情報発信の方法は。また、いつから使えるのか。

答 LINE（ライン）を活用して、各種行政情報を発信していきます。使えるメニューについては今後検討し、夏前ぐらいの運用を考えています。

自治会運営費・事務費
599万1千円

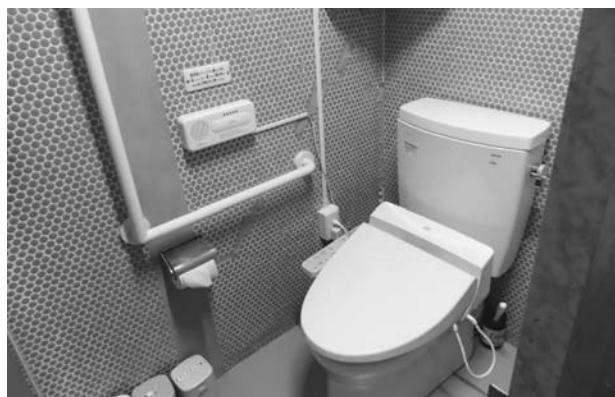
問 それぞれの算定方法は。

答 一定の予算を確保したうえで、予算の範囲内で各自治会に交付します。運営費・事務費ともに半分を各自治会に均等に配分する均等割、半分を各自治会の戸数に応じて配分する戸数割として交付します。

役場庁舎トイレ改修調査設計委託
957万円

問 委託の内容は。

答 バリアフリースイールの新設に併せて、建築から50年が経ち、配管等が老朽化している地下から3階までのすべてのトイレ改修に伴う設計委託を行います。



バリアフリー化が進められる役場トイレ

鳥獣被害防止総合対策事業
3 7 3 万 9 千円

問 既存の鹿柵の現況調査とのことだが、内容は。

答 仙美里から勇足まで、延長94kmの鹿柵を傷みなどの調査を行います。

町道負簀西4線道路道路改良舗装工事
5, 9 5 0 万円

問 事業の見通しは。

答 令和6年度は、昨年に引き続き負簀2側の150mの工事を進め、令和7年度の終わりからは負簀1側からの調査設計委託を行います。

勇足地区公共トイレ
3, 2 2 0 万円

問 どこにどのようなトイレを設置するのか。

答 勇足コミュニティセンター跡地にトイレを新設し、男女兼用と女性専用の多目的トイレを設置します。

A I 型学習ドリル
3 4 1 万 7 千円

問 導入するメリットと活用場面は。

答 個々の学習状況と進度に応じた問題や学習プランがA Iから提案、学習データが分析されることにより、苦手傾向や達成度を確認することができます。家庭学習や授業で活用します。



A I 教材で学力アップ

循環バス運行
9 8 2 万 3 千円

問 運行形態の見直しにより、利便性はどうなるのか。

答 利用者数に対する運行台数を鑑みて1台での運行へ変更となりますが、併せてルートを変更することにより、病院までの到着時間が短くできるのではないかと考えます。

公共施設等除雪
1, 0 0 6 万 3 千円

問 令和5年度より予算が増となっているが、理由は。

答 これまで直営で実施していた、北1丁目から北3丁目の町道と役場庁舎等、町内の公共施設8か所についての除雪を民間委託に移行するためです。

町営スケートリンク設置
1 2 4 万 4 千円

問 照明が暗く、LED化の要望があったが、対応は。

答 現地確認と照度を測定しました。照明器具の角度の調整と暗い箇所には移動式の投光器を設置することで、明るさを確保します。

LED化についても、今後補助事業の活用を含め検討します。

本別高校の教育を考える会補助金
5, 7 5 6 万 6 千円うち
海外研修分 1, 3 8 8 万 9 千円

同会では、オーストラリア・ミッチェルへの研修に対し宿泊交通費等の支援を行っており、令和5年度は2年生13人が研修に参加しました。広報ほんべつ3月号にて、ミッチェル訪問団研修体験記の掲載のほか、1年生へ報告会を実施しています。

問 海外研修は令和5年度に初めて行われたが、新年度に向けては。

答 参加された生徒からはホームステイすることによって英語やコミュニケーションに自信が持てるようになった等の感想をいただいていますので、今後も海外研修の魅力がPRされ、参加する生徒が増えることを期待しています。

歳入

コミュニティセンター暖房料（道の駅）
1万4千円

問 テナントのうち簡易郵便局のみ暖房料を徴収しているが、費用負担の公平性は。

答 借主と町の両者の合意に基づいて、取り進めています。

病院事業会計

患者数の見込み

1日平均入院患者数が令和5年度より5人増の45人、1日平均外来患者数が10人増の144人を予定しています。

問 この見込みが実現できるという理由は。

答 医師4名体制により、外来のコマ数が増えます。また、他の病院に通院している人が町国保病院でも受診可能にする取り組み、人間ドック受診者などの再検査受診率を上げる取り組み等によって、実現できると考えます。

図書館雑誌

280万8千円（一般図書等含む）

問 来館者からの雑誌に対する要望は。

答 雑誌が他の町より少ないという声もあることから、今後は町民に雑誌の寄贈を呼び掛けていきたいと考えます。



ちょっと寂しい雑誌コーナー

総括

企業誘致

問 企業誘致は、何社誘致できるのか。

答 確実に1社以上は誘致していきたいと考えます。

賛成

討論

反対

阿保委員 町民の暮らしをきちんと守り、それらに対する課題に対応するための予算である。

6人

高橋委員 防災情報の速やかな伝達や公共施設のエリアコン整備等、町民の期待が強い予算提案である。

一般会計

可決

宮本委員 コロナワクチン被害者への救済支援の声が予算に反映されず、支援体制も見受けられない。

丑若委員 期待の持てる予算もある一方、弱体化している農業へもっと力強い農業予算が必要である。

梅村委員 道の駅テナントと不透明な経緯での公費負担は、町長の政治姿勢に極めて大きい疑問を抱く。

3人

加藤委員 医療スタッフは献身的に頑張られている。経営改善に努め、町民から愛される病院に期待する。

6人

病院事業会計

可決

宮本委員 多額の繰り入れが町を破たんへと導く。不満の声が多く、満足、安心できる病院とは言えない。

梅村委員 これまで予算やプラン通り経営されたことが一度もない。病院の体質・体制に大きな課題がある。

3人

広報広聴常任委員会と 本別高校の 教育を考える会との懇談会



令和6年2月8日に広報広聴常任委員会（委員5人）と町内各小中学校のPTA会長などで組織されている、本別高校の教育を考える会（山根博和会長）との初の懇談会を開催しました。懇談会では、本別高等学校の五條校長、小林教頭にも参加いただき、高校の現状と今後の課題、議会や議会だより、町政へのご意見などを伺いました。

大きな企業も撤退して、高校卒業後に地元で働けるかが高校を選ぶ上でも問題になってくる。本別の魅力を発信できるようなお店みたいなものができてこない、本別のアピールという面では厳しく、そういうまちづくりが本別高校をさらに輝かせるのでは。

地域連携校に移行した絡みもあって、少人数の良いところもある。きめ細やかな指導や色々な媒体を使っでの授業、柏葉高校との連携など、PR含めて町として本別高校を考えていき、熱が少しでも大きくなって町全体で支えていけるようになればありがたい。

とかち創生学をもっと上手に宣伝して町民や子どもたちに知ってもらい、頑張っていることを広げられる方法がないのかなと思う。

卒業して町外に出た子どもが本別町に戻ってきてくれる、そういった環境作りがうまくできればいい。また、考える会の予算が拡大されればもっとやりたいことができると考える。
議会広報を怠ると、議員の活動や何を質問しているのか分からないので、大事にしてほしい。

本別の高校の存在と魅力はやっぱりなくしてはいけない。議会だよりは、以前は写真が少なく、文章だけのイメージだったが、今は写真も多く読みやすくなり、毎回目を通してしている。



地域で支え合って生徒たちは伸び伸びと、日々の学びを進めている。オーストラリア研修に参加した生徒からは非常に良かったとの声があり、来年度もより一層充実した活動になればと思う。

教育界でも本別高校はすごく注目されていて、町と協働する活動が参考になるということで、視察が来たりしている。生徒の学びに繋げて、やがて生徒が本別町に戻ってくるような取り組みをしていくのが、これからの課題。

高校には、学ぶだけではなく、運動やクラブ活動で頑張っている子どももたくさんいて、それもありかなと思う。生徒に来てもらうことに情熱を傾けることが一番だと感じる。

広報広聴常任委員会
と懇談会しませんか？

希望される団体等がありましたら、
議会事務局までご連絡ください。
（電話0156-22-8123）

懇談会では、「中央小の町営スケートリンクの照明が水銀灯のため暗く、さらに点灯までかなり時間を要するため、LED化の要望を数年前からしているが、なかなか実現されない」との声が寄せられたため、3月19日の予算審査特別委員会でごこの件について質疑しました。（11ページ掲載）

総務常任委員会

本町の文化振興の取り組みについて

1/30

1. 芸術文化活動の推進

町民の学習成果の発表の場として、□ビー展、音楽祭など各種舞台発表、文化活動の情報発信として本別町文化協会ガイドを発行しています。

2. 各種公民館講座

生活に彩りを添えるきらめき講座、豊かな感性を育む伝統文化子ども教室など各種講座を開催しています。

3. 活動支援

勇足地区公民館「勇足夏まつり」、文化協会および協会加盟団体が開催する事業への活動支援、文化協会および協会加盟団体、勇足・仙美里・美里別地区公民館運営推進委員会に補助金を交付しています。



まとめ

会員数の減少や会員の高齢化が進んでおり、活動費や施設使用料等が負担となり、協会未加入の団体もあると考えます。今後、使用料、補助金の妥当性、次世代の育成など各団体との協議が必要です。

文化振興の推進で、本別町民の暮らしを豊かにするために、さらに工夫されたあもしろい公民館講座が望まれます。

産業厚生常任委員会

道の駅・本別公園の観光動態について

2/6

1. 道の駅「ステラ★ほんべつ」

道の駅は、市街地中心部にある、本別最大の観光拠点施設です。道の駅では、各種イベントの実施や本別産の原材料を使用した新製品の開発・販売等行っており、観光客のみならず町民にも多く利用されています。

2. 本別公園

本別公園は、「遊ぶ・泊まる・見る・買う・食べる」を満喫できる観光地です。公園遊具やボート、ゴーカートが人気で、無料のキャンプ場もあり、町内外に認知度が高まっています。



今後の公園整備計画として、オートキャンプ場を令和8年度の供用開始を目指し整備していきます。

3. 観光動態

道の駅、本別公園の観光入込客数は、コロナ禍で減少したものの、現在は回復傾向となっています。

まとめ

今後も利用者にとって安全安心で満足していただけるよう、さらなる入込客数増に向けた取り組みが望まれます。

行政報告

第1回定例会（3月5日、13日開催）において、町長および教育長から行政報告がありました。

（抜粋）

常勤医師の採用について

常勤医師の採用について報告いたします。

新任医師は、高山幸二（たかやま こうじ）医師で、年齢は50歳、札幌医科大学医学部出身で、医師免許取得後24年間、主に東京都内の医療機関で内科や呼

吸器科診療に携わり、総合内科専門医、呼吸器専門医、アレルギー専門医等の資格を取得しています。

本町では、内科外来を中心とした診療と併せ、公衆衛生活動等も担っていただき、町民のかかりつけ医として活躍いただけるものと期待しています。

本別町立仙美里小学校の統廃合について

仙美里小学校は、人口減少や少子化の影響により、現在は26人となっています。このような中、保護者により「仙美里小学校の今後

を考える会」が設立され、仙美里小学校は閉校し、本別中央小学校への統合に関する要望を受けたところで

す。児童や保護者、地域の方々の思いを重く受け止め、尊重させていただき、仙美里小学校につきましては、令和7年3月31日をもって閉校とし、本別中央小学校に統合することといたしました。

これからも児童や保護者、地域の方々の思いを大切にしながら、適切かつ円滑に仙美里小学校の統廃合を進めてまいります。

写真で見る議員活動

3/14

町民との懇談会
（学び働く議員会）自閉症啓発ライトアップ
ボランティア（議員会）

4/2



議会日誌

〔 2 月 〕

- 6日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 8日 広報広聴常任委員会と本別高校の教育を考える会との懇談会
- 9日 議会運営委員会
- 16日 議員協議会
- 26日 一部事務組合議会（帯広市）
- 28日 議員協議会



- 18日 各会計予算審査特別委員会
- 19日 各会計予算審査特別委員会
- 21日 各会計予算審査特別委員会
- 22日 本会議（議案審議）
- 28日 広報広聴常任委員会

〔 3 月 〕

- 1日 議会運営委員会
- 5日 第1回定例会開会、議員協議会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会、議会運営委員会
- 7日 本会議（一般質問）、ナイター議会
- 12日 本会議（議案審議、予算提案）
- 13日 本会議（議案審議、予算提案）
- 14日 本会議（副議長選挙、予算提案）、議員協議会、総務常任委員会、広報広聴常任委員会



〔 4 月 〕

- 4日 議長との対話室
- 5日 議会運営委員会
- 15日 広報広聴常任委員会
- 17日 議員協議会
- 19日 広報広聴常任委員会
- 23日 十勝町村議会議長会定例会、十勝活性化推進期成会委員会（帯広市）
- 25日 議会運営委員会、産業厚生常任委員会所管事務調査
- 26日 総務常任委員会所管事務調査
- 30日 第2回臨時会



ユーピーふれいこ



まずはやってみて
それに独自性を



岡本 洋和 さん（勇足元町）

今回は3月定例会に傍聴
にお越しいただいた、勇足
元町にお住まいの岡本洋和
さんにお話を伺いました。

岡本さんは、18歳まで勇
足に在住、その後自衛隊勤
務などを経て、29歳のとき
に実家の精肉店を継承され
ました。

もっと活気のある議論を

議会傍聴は今回が回目、
傍聴の感想を伺うと、「農
業振興対策の質問がありま

しましたが、これだけ物価
が高く、商人にも通ずる
部分があるなと感じました」
「議員側は意見を持つてギ
ラギラ聞いてくるのに、答
弁する側の表情が暗い。もっ
とお互いに気持ちのこもつ
た、活気のある議論をして
ほしい」「休憩中のやりと
りは傍聴に行けば見られる
のに、ネット中継では切ら
れてしまい不満です」など
の率直なご意見をいただき
ました。

これからは事業選別も必要

これからのまちづくりに
ついて思いを尋ねると、
「人口が減ってくるとやれ
ていたことがやれなくなる
と思うので、これからは事
業選別も必要になるのでは。
1万2千人いたときと同じ
ことをやるのではなく、もっ
と危機感を持つてできるこ
とを考えるべき」「まずは
やってみて、3番手4番手
でも、それに独自性を出し
て続けることがよいのでは」
「豆のままで買う人はい
ないと思うので、肉のたれ
などの加工品や豆に代わる
ものも必要ではないか。手
軽さを求めて買うお客さん
が多いです」と語られまし
た。

仕事に熱中

今熱中していることはと
伺うと「仕事」と岡本さん。
「経営をつまぐやっていた
たいですね。昨年は九州で
仕入れをしたり、東京や大
阪で販売をしました。今後
は、取り扱っている北海道
産牛を全国に展開してい
きたいです」

議会報告会・町民懇談会アンケートご協力をお願い

議会報告会及び町民懇談会につきまして、より多く
の人が参加できるよう、開催日程に関するWEBアン
ケートを実施します。右のQRコードからアンケート
にご回答いただきますようお願いいたします。

（回答期限：5月31日）



アンケート

本別のみならず、他町の
議会中継の視聴や道外の議
会に傍聴へ行ったこともあ
る岡本さん。今回はお忙し
い中、インタビューにご協
力いただきありがとうございます。

議会のホームページでは、過去の議会中継
や議会だよりをご覧になることができます。



議会中継



議会だより

次の定例会は
6月4日（火）開会
13日（木）一般質問
を予定しています